

春を誘う可憐な花、美しさの中に生命のドラマを演じる

# 雪割草 花言葉 「忍耐」

雪割草と一口に言っても、同じ名前でも異なる種類があります。一つは高山に生えて雪解け直後に開花するサクラソウ科で、もう一つは比較的低山や丘陵の落葉樹の下で3~4月に開花するキンポウゲ科のもの。



キンポウゲ科はさらに、葉の先端が鋭いミスミソウ(三角草)と丸っこいハマソウ(洲浜草)とに大別され、さらにその中間型も見られます。

分布は本州と四国、九州。一見花のように見えるのは、実はがく片で、これが通常6~8枚ある。白や薄紅、紫のほか、黄やボカシなど花色・花形は変化に富みます。

猿山一帯の雪割草はオオミスミソウに分類され、その群生は日本有数といわれています。花色は白が多く桃、紅の順です。近年の山野草ブームで盗掘され続け、紫や真紅などの色鮮やかな花は、めっきり少なくなってしまいました。



昭和43年にこの一帯は、そのすぐれた生態系と自然景観を厳正に保護するため、能登半島国定公園の特別保護地区と特別地域に指定されています。一帯での動植物の採取等は厳しく規制されており、採取は懲役または罰金に処せられます。くれぐれも「とるのは写真だけ、残すのは足跡だけ」かけがえのない自然を大切に!

## 猿山雪割草環境保全協力金とは

能登半島国定公園特別保護地区に指定されているここ猿山山系は、近年の山野草ブームや自然志向を反映し、遊歩道の荒廃や雪割草の盗掘、踏み荒らし等の影響が顕著にでてきています。

このような状況の中、地元住民が中心となりパトロールや除草をするなど、自然景観の保全に取り組んでおりますが、著しい高齢化や過疎化等により、今後継続していくことが困難な状況となっております。

そこで、遊歩道の整備やパトロール等の保全活動に対する費用を補うため、猿山岬を訪れる方に協力金をお願いすることといたしました。

この貴重な自然遺産を守るため、皆様の理解とご協力をお願いいたします。



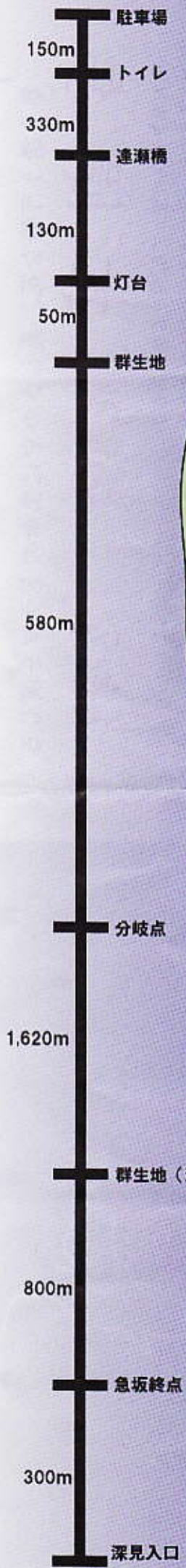
## 《お問い合わせ》

猿山雪割草環境保全推進協議会

(門前町観光協会内)

TEL:0768-42-0201





急な階段です。灯台方面から行かれた方が楽ですよ!

猿山山頂  
 A分岐点より 約720m  
 F分岐点より 約440m  
 G分岐点より 約400m

**採取・ポイ捨てはダメです**

猿山山系は能登半島国立公園特別保護地区及び特別地域に指定され、一帯での動植物の採取は厳しく規制されています。これを破った場合は懲役、または罰金刑が課せられます。

かけがえの無い自然を大切に。自然はあなただけのものではありません。

◎と猿山雪割草のみち  
**散策マップ**

- : 猿山周遊コース
- : 雪割草群生地
- ~ : 急坂
- : 遊歩道